

～基礎から始める都市地震工学シリーズ No.3～ 「130周年記念レクチャーシリーズVol.5」

No.	開催日	講師	タイトル
第1回	2011年6月3日(金) 14:00-16:00	大野 隆造 教授 大学院総合理工学研究科 人間環境システム専攻	災害の行動科学 —被害の大きさを左右する人間的要因—
		山中 浩明 教授 大学院総合理工学研究科 環境理工学創造専攻	地震の揺れの科学 —東日本大震災での揺れはなぜ長かったのか—
第2回	2011年8月3日(水) 14:00-17:00	大佛 俊泰 教授 大学院情報理工学研究科 情報環境学専攻	帰宅行動と帰宅難民 —首都直下地震時にはどうなる?—
		高橋 重雄 連携教授 大学院総合理工学研究科 人間環境システム専攻	津波のメカニズムとその災害
		時松 孝次 教授 大学院理工学研究科 建築学専攻	地震時の液状化 —メカニズムから対策まで—
第3回	2011年10月6日(木) 14:00-16:30	二羽 淳一郎 教授 大学院理工学研究科 土木工学専攻	東日本大震災における土木構造物の被災状況
		梶 秀樹 特任教授 都市地震工学センター	地震火災—東日本大震災の教訓
		丸谷 浩明 特任教授 都市地震工学センター	東日本大震災を踏まえた事業継続計画(BCP)のあり方
第4回	2011年12月6日(火) 14:00-16:00	奥山 恭英 特任准教授 都市地震工学センター	災害の経済的影響:考え方、計り方、対処の仕方
		竹内 徹 教授 大学院理工学研究科 建築学専攻	東日本大震災における学校施設の被害と復旧
第5回	2012年2月9日(木) 14:00-16:00	坂田 弘安 准教授 建築物理研究センター	地震と木造住宅
		翠川 三郎 教授 大学院総合理工学研究科 人間環境システム専攻	東日本大震災の教訓と今後の地震防災対策